

2007 年度海外留学プログラム 参加者アンケート

このアンケートに記載された情報は衣笠国際センター・BKC国際センターにて管理をし、今後のプログラム改善の参考にします。

また、前半4ページは、プログラムに関する情報提供に利用します。以上の目的以外には使用せず、成績評価にも影響しません。

プログラム： JICA インドネシア 派遣先大学 / 機関

公開しても差し支えなければ、以下に氏名、学部、連絡先、回生、性別を記入してください。

氏名： 永井扶実 産業社会 学部/研究科 インスティテュート

E-mail： so098067@ss.ritsumei.ac.jp 2 回生 女

* 以下、回答は、該当するものに 印をつけ、記述はできるだけ具体的に記入してください。

1. 現地での講義について

内容・レベル、使用教材、テストについて：

サイトは非常に専門的な部分が多く難しかった。

ただ、サイト自体についてだけではなく、JICA とのつながりについてもっと話を聞くべきだったと思う。

クラス数と受講人数（クラス分け方法） 本学以外の学生の参加：

学生 15 人と引率の先生と TA さんでちょうどよい人数だった。

コメントと次年度参加者へのアドバイス：

やはり事前にもっと勉強しておけばよかったと思った。昨年の参加者の人にそうアドバイスをもらっていたが、やはり私も同じことを思った。ただ、JICA からプログラムの詳細が知られるのが遅く、調べることが難しかったのも事実であるため、来年度はすこしでも多くの情報を集めて勉強していけるように配慮してもらえたらよりよいプログラムになると思う。

現地研修語によるレポート・プレゼンテーションなど

取り組んだテーマ：

事前準備・現地でのリサーチ方法：

コメントと次年度参加者へのアドバイス：

2. フィールドトリップについて

行き先・行程について

インドネシア。国内線に乗っての移動が多かった。

ガルーダインドネシア航空だったため、乗るたびに心配しなけりばならなかった。

フィールドトリップについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス（携行品等）：

体調を崩す人がたくさんいたので、薬や冷えピタなどがぜをひいたときに対応できるようにしておいたほうがいいと思う。

3. 現地の環境について

現地キャンパスについて

自習環境について

その他の施設・設備についてコメントと次年度参加者へのアドバイス：

ホテルだったので勉強や打ち合わせは難しかった。

住居について（当てはまるものに○）

- ・寮 or ホームステイ or **その他**（ ホテル ）
- ・食事は？： 自炊 or 食堂 or **外食** or その他（ ）
- ・食費は？： プログラム費用に含む（ 朝食 ） or 別途実費負担

- ・寝室は？： a. 1人部屋 **b. 相部屋**（ 2名でシェア ルームは **立命館生** or 現地学生 or その他 ）
- ・共有施設は？： a. キッチン b. トイレ c. シャワー **d. 無し**（すべて自分/ルーム専用）
- ・洗濯は？： ランドリー 有 or **無** 洗濯機の使用 可 or **不可** or 洗濯してくれた
- ・家族構成 or 寮の住人の構成は？：
- ・寮 or ホームステイについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス：

<2 箇所以上に滞在した場合は、上欄と同じ内容を他の箇所について記入>

パソコン・インターネット環境について（当てはまるものに ）

- ・パソコン利用場所は？： 大学（約__台あり） or ホームステイ先・寮 or **その他**（ **ホテル** ）
 - ・ノートパソコンを日本から持参しましたか？： 持参した or **持参しなかった**
 - ・インターネットへのアクセスは？： 自室から可能 or **一定の場所から可能**（ ） or 不可能
 - ・日本語ソフトは？： 読める or 入力できる or 読み・入力ともに可能 or どちらも不可能
- その他気付いた点と次年度参加者へのアドバイス：

あまりパソコンが使いえなかったので、海外でも使える携帯があると便利だと思う。

4. 現地学生・スタッフとの交流イベント等について

全体を通して参加してほんとによかったと思う。まず、文化の異なる海外に行くということだけでも、日常生活を離れて生活することができて多くのことを考えさせられた。人々や町並みなど、すべてが新鮮でとても刺激を受けた。日本で当然だと思っていることが特別だということに気づくことができた。また、プログラムに関しては JICA の支援するサイトをたくさん訪問させていただいたが、その内容は多岐に渡り、JICA の支援についてはもちろん、幅広い専門知識についても学ぶことができ、非常に貴重な体験ができた。国による国際協力が実際にどのように行われているかということをも自分の目で見ることができ、参加する前に認識していた国際協力のイメージとは異なるものを感じた。具体的には、国家レベルの国際協力となると、やはりそこはきれいなものだけではなく、政治的・経済的策略など多くのものがまわりに渦巻いているのだということを知り、若干衝撃を受けたが現実を見ることができてよかったと思う。こういった側面は現地に行き実際に働いている方の話を聞かなければ分からなかったため、自分の将来を考える上で非常にためになった。

今後、募集説明会や事前ガイダンス、留学フェアなどを行う場合に、協力(体験談を話してもらうなど)をお願いする際、協力をお願いしますか。

協力してもよい 協力できない

7. 写真提供のお願い

プログラム紹介のための写真の提供をお願いします。写真をこのページに添付するか、データを持参して衣笠国際センター・BKIC国際センター窓口に出してください。





ご協力ありがとうございました。 記入済みアンケート用紙は、**2007年9月28日(金)まで**に、衣笠国際センター・BKC 国際センター窓口の専用回収箱に入れてください。

立命館大学衣笠国際センター・BKC 国際センター